

感染症情報 5月21日～27日

府下小児科197医療機関(堺市17)から

①感染性胃腸炎	1843例(堺市	71例)
②溶連菌感染症	612例(堺市	48例)
③咽頭結膜熱	200例(堺市	12例)
④突発性発疹	127例(堺市	11例)
⑤みずぼうそう	125例(堺市	5例)

府下インフルエンザ定点303医療機関(堺市27)から

インフルエンザ	49例(堺市	1例)
---------	--------	-----

が報告された。

感染症報告数は前週比6.9%増の3,101件であった。

報告の第1位は感染性胃腸炎で、以下溶連菌感染症、咽頭結膜熱、突発性発疹、みずぼうそうの順であった。

感染性胃腸炎は府下で前週より5%増、堺市では前週より19%減であった。溶連菌感染症は府下で前週より4%増、堺市で前週59例→今回48例で19%減であった。咽頭結膜熱は府下で前週比18%増、堺市で前週と今回とも12例であった。みずぼうそうは府下で前週より44%増、堺市では前週と今回とも5例であった。

堺市の流行性角結膜炎(いわゆる「はやり目」)は前週6例→今回2例でさらに減っている。インフルエンザが堺市では前週3例→今回1例であったが、府下では前週30例→今回49例とまた増加した(63%増)。

麻疹や風疹の報告はなかった。